

## 平成16年度国際協力出前講座「伝え方講座」

出前講座で必要とされているのは、  
2年間、現地の人と泣き笑いをともにし、途上国で生活し活動してきた、  
あなたの「生」の声です

### 1. 国際協力出前講座を成功に導くには

#### 事前準備

##### ①綿密な打合せ

- ・講演依頼内容の詳細→授業との関連性
- ・ニーズ調査→先生のニーズと生徒のニーズは異なる
- ・対象者の特徴確認
- ・会場確認（大きさ、特徴）
- ・使用可能機材の確認

##### ②与えられた講演のテーマからポイントを絞る

- ・伝えたいことに優先順位をつける
- ・データ、細かいことは配布資料で

##### ③講演内容を組み立てる

- ・導入→展開→まとめ
- ・肯定的な面と否定的な面のバランスがとれた情報提供、講話内容
- ・タイムマネジメント
- ・効果的な場面で小物、視聴覚機材を使う
- ・飽きさせない講座の工夫（講師報告書を参考に）

**出前講座を成功に導くためには事前準備とニーズ調査で8割が決まる！**

### 2. 対象者別 講座成功のためのアドバイス

＜共通＞ 一つは、必ず対象者と繋がりがあり、親近感を抱く事柄、イメージのしやすいトピックスを選ぶ。  
起承転結ははっきりと。

会場全体を見ながら話しましょう。

- <小学生> 集中力が持たないので(持って10分程度)、参加型の講座を工夫する。  
伝えたいことは最高でも3つまでがベスト。  
ゆっくりと丁寧に話す。難しい言葉は使わない。  
資料を配布するなら、漢字などに注意。難しい漢字にはふりがなを入れる。  
パワーポイントは極力さける。
- <中学生> 同世代の話題を取り入れて興味をひくとよい。  
言葉使いには気をつける。  
思春期の年齢を考慮する。  
協力隊事業の基礎知識は頭に入れておく。
- <高校生> 進路選択を含めた自分のキャリアも講話内容にいれるとよい。
- <大学・一般> 歴史的事項等データは必ず持参しておく。

## 国際協力出前講座講師報告書要約

## 講師報告書

聴講者 人数(名)	良かった点	反省点	アドバイス
116	極力子どもに質問を振って反応を見ながら話が出来た。／子どもにワークシートを作成してもらうことで関心をもたせ、それに答える形で経験談ができた。	質問に対する答えを予測できなかった。／時間が足りなくなって引率の先生方をあせらせてしまった。	特定の答えが返ってくる質問の仕方をすべきでは。／時間がないと準備した話も良さが半減してしまう。話を少なめに準備しておいて、臨機応変に付け足すくらいのほうが良いのでは。
62	子ども達に興味を持ってもらった。	PCで画像をスクリーンに投影するのに手間取った。	自分には当たり前の現地情報を他の人は知らない、ということを念頭におき、説明をするべき。
142	真剣に話を聞いてくれた。／質問がたくさん出た。	小学生がどの程度話を理解できるのか想像がつかず不安。	伝えたいことがありすぎて、1時間程度にまとめるのは難しいが、一人でも多くの人に伝わるようにするのが大切。
43	海外で人を助けるには様々な知識や技術が必要だと分かってくれたと思う。	協力隊活動から時間がたっていたので、まとまりのある話に仕上げられなかった。	子ども達に楽しめるものや写真を準備すべき。
95	よく話を聞いてくれた。／講義後1クラスの生徒達と給食を一緒にとれた。		開始後30分～40分くらいで集中がきれ、ざわざわし出す。時間を見計らって、クイズや体を動かす、びっくりする等の企画を行うと良いかもしれない。
88	先生の協力があり、運動場で体験型学習行うことが出来た。		さまざまな教材を準備すると、子どもたちも集中できる。
31	熱心にメモとりをしながら聞いてもらえ、非常にやりがいがあった。		自分の体験自慢になりがちなので、伝えたいことを明確にして行うとよい。
157	講義中比較静か。／質問が積極的にあった。		小学生が集中できる時間を考慮して、写真、ビデオ等で視覚的なインパクトを与えることや、質問をして会話の機会を与えるなど、飽きさせないようにする。

小学校

## 国際協力出前講座講師報告書要約

## 講師報告書

中学校	講師報告書			
	聴講者 人数(名)	良かった点	反省点	アドバイス
	7	少人数のため質問を挟みつつ話を進めることが出来た。/熱心に聴いてくれた。		
	40	現地中学生との文通の相手を募集できた。	時間が短かった。資料が不十分。	相手のリアクションが少なく気持ちが読みにくい。
	11		中学生の知識量にあわせて導入に簡単な地理の説明をすべきだった。	基礎知識を事前に把握しておく必要がある。/写真を使うと、イメージを湧かせるのに効果的。/生徒の生活と結びつくところに興味を持つようだ。
	233	生徒会の子も達が司会進行してくれた。/担当の先生がしっかりと準備してくれた。	中学生は反応が間接的なので難しい。	話だけでは退屈してしまう。ビデオや写真を取り入れたほうが良い。/学校側担当者との打ち合わせをしっかりと。
	197	質疑応答のときに質問が多かった。	初めての講演。余りうまくしゃべれず、準備不足を痛感。/予定時間をはるかにオーバーした。	パワーポイントによる資料の作成。
	210	会場設営をだだっ広くならないように先生方が工夫してくれた。/話を熱心に聞いてくれた。	会場でプロジェクターやスライド等の使い方を先生方も把握しておらず、機材を使うのに手間取って時間をかなり無駄にした。	
	43			中学生は思ったよりシャイなので、発表などは当てていったほうが良い。/事前に打ち合わせをする。/会場の広さを知っておけば余裕が持てる。/質問等を軽くメモしておけば、講座後の書類が作りやすい。
	82	生徒がとても元気で反応がよく、楽しく講演できた。先生も協力的だった。	質疑応答の時間が短かった。	
	195	思っていたよりまじめに話を聴いてくれた。/写真等にリアクションがあり、ほっとした。	準備したつもりだが、体育館で生徒のまえにでると緊張してうまく話せなかった。/短時間の間に様々なことをやりすぎて焦点がぼやけてしまった。/生徒の興味をひくため一部暴走してしまった。	項目別にテーマを明確にし、見て感じ取れる写真等を用意すれば、伝えたい内容がはっきりし、時間配分もうまく行くとおもう。/大人数対象の授業の進め方などの勉強会を検討すべき。
	360	相手が知りたいことをリストアップされていたので資料作りが楽だった。		発表は余分目につくっておく。/2回くらいは通して練習するのがよい。/当日の質問等をメモしておく、報告書作成の際に便利。

## 国際協力出前講座講師報告書要約

## 講師報告書

聴講者 人数(名)	良かった点	反省点	アドバイス
71		PCの不調。OSの違いから JICAのPCでデジカメ画像映 せず。	事前にPC環境のチェック。
80		音楽テープを持っていった が、途中でプレーヤーの電池 が切れてしまった。	当日使用するオーディオ機器等のチェッ ク。/高校生は講義よりも質問時間を多く 取ったほうが関心を持つように感じる。
39	熱心に聞いてくれたので話し やすい。/たくさん質問が出 た。		高校生になると自分の将来のことを考えな がら協力隊や国際協力のことを考えるよう になると感じた。
37	話のテーマを紙に書いて張り 出しておいたので、原稿を見 ないでも話がそれないし、印 象に残りやすかったと思う。		最初少しの時間英語で講演したが、注意を 引くのに効果的だった。
23		一般的に正しいと思われる テーマをとりあげる時には、 「正しい」ということを連呼する のではなく「なぜ正しいと思わ れているのか」という点を具 体的に学生の目線で説明する 必要があるのではないかと 反省した。	一部の地域の出来事を話したが、自分の 話し方では現地全域がそうであるような話 し方になっていたように思う。習慣や文化 の話をする場合にも注意が必要だ。
45	現地の生活を中心にデジカメ 画像等を利用して話したた め、多くの質問が寄せられ た。		
150	担当の先生がプリントを用意 してくださったのが助かった。	事前の打合せをしていなか ったので、最初の授業が練習 みたいになってしまった。	ガイド的なものを作っていく必要があると 思った。
90		先生には、事前に生徒の質 問があれば取りまとめて欲 しい旨の要請をしたが、質 問がなかったらしく、講演 内容が当たり障りのない内 容になってしまったのは残 念であった。	生徒の興味の引く講演内容にし、内容を 考える講師の負担を減らすため にも、講演前のある程度依頼団体が生徒 の要望を聴取し、予め講師に伝えてお くことが必要ではないかと思う。

国際協力出前講座講師報告書要約

講師報告書

一般	聴講者人数(名)	良かった点	反省点	アドバイス
	15	リラックスして話せた。	予定時間をオーバーした。	
	20	対象者が海外・語学に関心をもっていたので話しやすかった。	写真を各席へ回してもらったがPCを使いスクリーンに投影したほうがよかった。／質疑応答の時間を取るべきだった。	
	289		相手の関心が広く、内容が浅くなってしまった。	対話形式の講演等で関心をもってもらおう。
	4	参加者の関心が限定されており内容が非常に濃いものになった。		
	37		構成をしっかり考えておくべきだった。／写真をたくさん用意すべきだった。	協力隊活動の詳しい内容については、その分野に詳しくない人、興味のない人には分かりにくいかもしれない。
	305	観客の反応を見つつ話せた。	大ホールでの講演のため話しづらかった。／参加者の関心にあわせて突っ込んだ話題をしてもよかった。	
	45		手持ちの資料不足、受講者に十分な資料配布ができなかった。	
	20	質問が多かった。	ゆっくり話していたら時間をオーバーした。	大人は質問がたくさんある。
24			事前準備をしっかりしておくこと。(内容、時間配分、内容の提出順、視聴覚資料の見せ方等)／依頼者からニーズと対象、その団体の特徴を聞いておくこと。／相手の反応を見ながら話すことが大切なので、表情朗らかに、声色や声量などに気をつけ聴衆の表情を見ながら話すことが大切だと思う。／人形のポディーに服を着せたり、民芸品を机に置いたり、机に現地の布を敷いたり視覚から興味が湧くよう工夫した。セッティングの後に、聴衆席側から見え方をチェックすることも大切。／資料提示は机の上に順番においておくともごつかない。／任国の基本データを持っておくことと質疑応答の時に便利。(援助金額、歴史年号等)	

講師報告書

大学	聴講者人数(名)	良かった点	反省点	アドバイス
	70	失敗談等を交えて話した。		現地で撮影したビデオテープ等の教材を使うほうが相手に伝わる。

国際協力出前講座依頼団体報告書要約

依頼団体報告書				
聴講者 人数(名)	良い反応	悪い反応	要望	
小学生	116	現地語での挨拶で気持ちがほぐれた。／自分の生活と比較して衝撃を受けたようだ。／総合学習を進める良い契機になった。		JICAについて知らない人が多いので施設や活動のPRをして欲しい。
	62	日本との生活の差を感じ、外国の暮らしや習慣に関心をもった。／写真などを丁寧に説明してくれた。	国の状況だけでなく、途上国の子ども達の生活について教えて欲しかった。	今後の開発教育に用いる教材（ビデオ）の貸し出し、メールでの質問にに対して欲しい。
	142	実際に体験し、見てきた事実は、重みがあり、子供達の心にもしみ入ったと思う。／世界で活躍している隊員の姿にあこがれをもった子供もいた。／今後総合学習のテーマを扱う上での礎となった。		
	43	小学生にも分かりやすく話をしてくれた。／自分達の知らない世界で実際に仕事をされてきた方の話を聞け、興味深かった。		
	95	写真をスクリーンに投影して見せてもらったので、現地の様子がよくわかった。／順序だてて分かりやすく話をしてもらった。／総合学習の一環としてとてもいい学習が出来た。		
	88	講演方法がよかった：〇×クイズ。手作りの紙芝居で現地の様子や問題を説明。その後運動場で、体験活動。（現地風に頭で水桶を運ぶレース）		
	31	体験をももとにしているのので、分かりやすい。／VTRなどを用いて、希望通りの内容を誠実に話してくれた。／総合学習を進めるのにとても役に立った。		
	157	子どもたちの興味をひきつけるような講義だった。／質問に丁寧に答えてもらった。		
	69	クイズ形式で話を進めたり、VTRをはさんだりして楽しく進めてもらったので、子供達は興味深く話を聞き、驚いたり感じたりすることも多かったようだ。子供達が楽しく話が聞けるように工夫していただき有難かった。		

国際協力出前講座依頼団体報告書要約

依頼団体報告書			
聴講者人数(名)	良い反応	悪い反応	要望
7	メンバー全員が話を理解できた。／リラックスしながら話を聞いた。／資料を一人一人に配ってもらえた。		JICAのホームページについての説明が欲しい。
11	普段感じられない世界を感じる事が出来た。／JOCV 隊員、JICA職員に憧れを持った。		小中学生向けのワークショップがあれば楽しく学べるように思う。
233	時間配分と、ビデオや写真等の教材の準備を入念に行ってくれていた。		
197	フィジーでの生活に興味をもった。	話にまとまりがなく、教師側が期待していたボランティア活動についての内容が薄かった。/生徒の質問も現地での生活のことに偏ってしまっていた。	
210	民族衣装を着て生徒の列の間に入って話をされた為、生徒もリラックスできた。／たくさんのスライドがあり刺激的。	マイクを使用したほうがよかった(声が小さい)。	
43	話がわかりやすかった。／クイズ等工夫されており、印象的だった。		また機会があれば利用したい。
82	ポイントが整理されており、生徒達にわかりやすい。パワーポイントなどの映像資料が理解しやすい。		今後もこのような啓蒙活動に広く取り組んで欲しい。
195	隊員本人の話は教師が話すよりもリアルで、生徒の興味を大きくひきつけた。		また機会があれば利用したい。
360	講師以外のスタッフの方にも話をしてもらえた。／JICAの事業説明を受けてからの講義が効果的だった。／〇×クイズ形式が分かりやすかった。／民族衣装を見せてもらえて良かった。	後ろの方からスクリーンの文字が見えない。	
210		全体的にみると話が長引いた分、生徒達が疲れていたようだ。説明する言葉が多ければ多いほど、耳が閉じていくかも。伝えたいことがありすぎて、時間が足りないようだったが、話の精選があれば助かる。	

中学校



国際協力出前講座依頼団体報告書要約

依頼団体報告書			
聴講者 人数(名)	良い反応	悪い反応	要望
71	体験談に強い印象を受けた生徒もいた。	自由時間が少ない。	
80	青年海外協力隊の活動や生活に興味を持たれた。/同世代学生生活に驚きを感じた。/前知識があったJOCVについて、隊員から生の話を聞けた。		出前講座を継続して利用できるようにして欲しい。
39	生徒のほとんどが、協力隊の人的な魅力に惹き付けられた。/今後もこのような企画を続けて行きたい。		今後も出前講座を利用したい。
29	分かりやすい話だった。/協力隊業務の写真に興味をひいた。/生徒達の進路選択の良い材料になった。		
37	具体例が多い。/ビデオ・紙芝居等視聴覚教材を効果的に使っていた。		
23	現地の同世代の学生の学校生活等に興味を持つ生徒が多かった。/国際協力についての考え方が、これまでは先進国側が「してあげている」と思っていたが、逆に開発途上国側に支えられていることがいかに多いかということ学ぶことが出来た。/国際協力の意義や重要性についての理解がより深まったように感じる。		今後も出前講座を継続的に利用したい。
45	昨年も同様の講義をしていただいたが、重点の置き方・時間配分を工夫していただいたため充実した内容になった。		

高校生

国際協力出前講座依頼団体報告書要約

依頼団体報告書			
聴講者人数(名)	良い反応	悪い反応	要望
15	講師が席を回りながら、時折質問され、受講者とのやり取りがあった。/講師の生き様が良く伝わり、感銘を受けた。/民族衣装を見せてもらえて良かった。		
289	カンボジアという未知の国の様子に関心を持った。/パワーポイントなどの視覚に訴えた講演が興味関心を与えた。		地域に協力隊参加者のデータがない。
4	少人数であったため、対話形式で自分の知りたい点について十分に聞くことが出来た。/海外について余り知らない人に対しても丁寧に分かりやすく話していただけた。		
37	初めてJOCVの体験談を聞いた。/PCを使った詳しい説明解説がよかった。		
305	パワーポイントの使用が高齢者にとって非常に分かりやすかった。/国内外の子どもの状況の比較から高齢者へのメッセージがあり、彼らに生きがいを与えたように思われる。/アフリカの西と東の両方を取り上げてもらったので偏見の解消につながった。		来年度も同様の催しを続けたい。
45	講師の熱意が伝わった。/海外協力の実情がわかった。	時間が短い。	
20	口頭説明に加えて、映像資料があったため分かりやすかった。/クイズ形式で体験内容を紹介されたため、参加者との対話が十分に持てた。	予定時間をオーバーした。	
24	十分な事前準備をした上で、話していただき、日常生活から教育の面まで興味深く聞くことが出来た。		

依頼団体報告書			
聴講者人数(名)	良い反応	悪い反応	要望
35	自分も協力隊に参加してみたいと思った。/体験談がおもしろかった。	直接講演者と会って講演内容を決めたかった。メールのやり取りでだけではうまく意思疎通ができなかった。	

参考資料・教材一覧

資料

JICA INTRO-KIT	JICA事業紹介	
JICA INTRO-KIT	JICA国際協力参加メニュー総合カタログ	
JICA INTRO-KIT	JICA青年海外協力隊事業紹介 (講師用ガイド付)	
JICA INFO-KIT	ODAとJICA	
JICA INFO-KIT	JICA事業概要	
JICA INFO-KIT	青年海外協力隊	
JICA INFO-KIT	シニア海外ボランティア	
JICA INFO-KIT	日系青年/シニア海外ボランティア	
JICA INFO-KIT	学校に行きたい！国際協力とわたしたち	
JICA INFO-KIT	出会ってみよう！やってみよう！国際協力：市民参加の手引き 新生JICAリーフレット GUIDE TO JICA	

ビデオ

JICA事業紹介ビデオ	GUIDE TO JICA 人のチカラが世界を変える！ JICAくんの国際協力って知ってる？	
協力隊紹介ビデオ	協力隊って、なんだろう？	

参考書物

発行：独立行政法人 国際協力機構	国際理解教育の手引き 平成6年度～平成15年度教師海外研修に参加して 協力隊体験を伝えよう！
発行：(社) 青年海外協力協会	協力隊体験を伝えよう！2 (ワークショップ集)
発行：(社) 青年海外協力協会	開発教育・国際理解教育ハンドブック
発行：(財) 国際協力推進会	一小中学校教員用副読本一
発行：(特活) 改訂版・開発教育ってなあに？	

参考HP

JICAホームページ	<a href="http://www.jica.go.jp/Index-j.html">http://www.jica.go.jp/Index-j.html</a> みんなで学ぼう→クラスルーム→「ぼくら地球調査隊」 (世界の子供たち・水などをテーマに動画で説明) みんなで学ぼう→クラスルーム→「国際協力ミニシアター」 (開発途上国・研修員の受け入れ等について) みんなで学ぼう→クラスルーム→教材集
キッズ外務省	<a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/world/index.html">http://www.mofa.go.jp/mofaj/world/index.html</a> (国旗、データ集、各国の学校生活)
なるほどデータ for きっず	<a href="http://www.stat.go.jp/kids/">http://www.stat.go.jp/kids/</a> (国内・世界の統計データ)
ユニセフデータ館	<a href="http://www.unicef.or.jp/kodomo/data/data.htm">http://www.unicef.or.jp/kodomo/data/data.htm</a> (人口増加率・乳児死亡率・識字率等データ)

参考教材

JICAフォトランゲージキット	
ODA開発教育キット (ビデオ教材+副読本)	世界みんなの笑顔のために (小学6年)
ODA開発教育キット (ビデオ教材+副読本)	ODAって何だろう？ (中学社会)
地球の仲間達 (フォトランゲージ)	教材内容→ <a href="http://www.dear.or.jp/books.html">http://www.dear.or.jp/books.html</a>
地球の仲間達 (CD-ROM)	教材内容→ <a href="http://www.dear.or.jp/books.html">http://www.dear.or.jp/books.html</a>
カードセット「世界がもし100人の村だったら」	教材内容→ <a href="http://www.dear.or.jp/books.html">http://www.dear.or.jp/books.html</a>
パーム油のはなし	教材内容→ <a href="http://www.dear.or.jp/books.html">http://www.dear.or.jp/books.html</a>
マジカル・バナナ	教材内容→ <a href="http://www.dear.or.jp/books.html">http://www.dear.or.jp/books.html</a>
コーヒーカップの向こう側 貿易が貧困を作る！?	教材内容→ <a href="http://www.dear.or.jp/books.html">http://www.dear.or.jp/books.html</a>
ひょうたん島問題～多文化共生をめざして	教材内容→ <a href="http://www.dear.or.jp/books.html">http://www.dear.or.jp/books.html</a>

貸出教材

(社) 青年海外協力協会	教材内容→ <a href="http://www.joca.or.jp/">http://www.joca.or.jp/</a> (ワールドボックス、地図、壁新聞等)
国立民族学博物館	教材内容→ <a href="http://www.minpaku.ac.jp/museum/kids/minpack/">http://www.minpaku.ac.jp/museum/kids/minpack/</a> (みんぱっく：世界各国、地域の民族衣装や生活の道具など)